

- 問1 3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方だけでなく九州から東北南部までの広い範囲で、同じ「前方後円墳」という形式の古墳が作られた理由として、最も適切なものはどれか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 稲作の普及により食料が豊富になったため、農作業の休憩所として全国で同じ形が採用されたため。 | 2. 仏教の教えに基づき、円形と方形を組み合わせることで死者の供養になると信じられたため。 | 3. 中国の皇帝から、日本全土を統一するためにこの形状で墓を作るよう命じられたため。 | 4. ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。 |
|--|---|--|--|
- 問2 古墳時代、朝鮮半島や中国から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられたもので、日本における記録や公文書作成の基礎となった文字を次の中から選びなさい。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. ローマ字 | 2. ひらがな | 3. 漢字 | 4. カタカナ |
|---------|---------|-------|---------|
- 問3 中国の歴史書『宋書』倭国伝には、5世紀に中国の南朝へ相次いで使者を送り、自身の地位を認める称号を求めた「讃・珍・済・興・武」という5人の王が登場します。これらの王を総称して何と呼びますか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-----------|--------|
| 1. 倭の五王 | 2. 渡来人 | 3. ヤマトの大王 | 4. 遣隋使 |
|---------|--------|-----------|--------|
- 問4 古墳時代における渡来人の移動と技術伝来が、当時の日本列島の社会に与えた影響について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 青銅器と鉄器が同時に伝わり、金属器を使った道具の製造が初めて行われた。 | 2. 須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。 | 3. 大陸からの技術移転により、日本列島で初めて米作り（水稲耕作）が始まった。 | 4. 全国に国分寺や国分尼寺が建てられ、仏教を中心とした国家体制が完成した。 |
|--|---|---|--|
- 問5 5世紀のヤマト王権の王たちが中国の皇帝に使節を送り、国内の支配権を認めさせていた時期の文化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 稲作の豊作を祈るための祭礼の道具として、青銅で作られた銅鐸が用いられた。 | 2. 魔除けや安産を願う呪術的な道具として、土偶が盛んに作られて集落の近くに置かれた。 | 3. 古墳の頂上や周囲に埴輪が並べられ、王の権威の高さや葬儀の様子を表現した。 | 4. 仏教の伝来とともに、大規模な寺院の建立とともに数多くの仏像が安置された。 |
|---|---|---|---|
- 問6 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。 | 2. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。 | 3. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。 | 4. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。 |
|---|---|---|--|
- 問7 仏教が伝来し寺院が建立されるようになる以前の時代、各地の有力者が自らの権威を示すために築いた、土を高く盛り上げた巨大な墓を何といいますか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|---------|-------|
| 1. 都 | 2. 貝塚 | 3. 環濠集落 | 4. 古墳 |
|------|-------|---------|-------|
- 問8 大仙古墳に代表されるような、非常に広大な面積を占める巨大な前方後円墳が、5世紀ごろの近畿地方を中心に築かれた歴史的な背景を述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。 | 2. 朝鮮半島からの渡来人が、大陸での一般的な墓の形式である前方後円墳の技術を伝えたため。 | 3. 中国の律令制度を模範とした国づくりが始まり、天皇の墓を規格化することが定められたため。 | 4. 仏教が伝来したことで、死者を供養するための大規模な寺院建築の技術が導入されたため。 |
|--|---|--|--|
- 問9 古代日本における漢字の伝来とその影響について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。大陸から移住してきた人々の活動や、宗教的な背景を踏まえて選びなさい。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 聖徳太子が大陸へ渡った際、現地で使われていた文字を日本独自の文字として持ち帰り、仏教の布教に用いた。 | 2. 渡来人が仏教の經典とともに漢字を伝え、日本人が公的な記録や情報の伝達を行う手段として定着した。 | 3. 縄文時代の交易を通じて大陸の文字が広まり、その後、仏教を理解するための補助的な記号として漢字が発明された。 | 4. 平安時代の貴族が、仏教の教えを分かりやすく書き換えるために、漢字をもとにして日本で初めて文字を作成した。 |
|---|--|--|---|
- 問10 5世紀の日本において、倭の五王と呼ばれる王たちが中国の南朝へ繰り返し使節を送った目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 平城京を造営するためのモデルとして、中国の都の仕組みを詳しく調査するため | 2. 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため | 3. 沿岸部で活動し周辺諸国を苦しめていた倭寇を取り締まるよう、中国から要請を受けたため | 4. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に勝利するための軍事同盟を、中国の王朝と結ぶため |
|---|--|--|--|
- 問11 日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|--------------|-------------|
| 1. 魏・呉・蜀 | 2. 隋・唐・宋 | 3. 高句麗・百済・新羅 | 4. 渤海・高麗・新羅 |
|----------|----------|--------------|-------------|
- 問12 ヤマト王権の王たちが「倭の五王」として中国の南朝へ繰り返し使節を送り、当時の国際社会において自らの地位を誇示しようとした主な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 1. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため | 2. 坂上田村麻呂を派遣して東北地方を制圧するために、強力な武器の支援を求めるため | 3. 大陸から稲作の技術を導入し、国内の食料生産を安定させるための指導を仰ぐため | 4. 最澄などの僧を派遣し、仏教を日本へ正式に導入するための許可を得るため |
|---|---|--|---------------------------------------|
- 問13 古墳時代、朝鮮半島から日本列島に移り住んだ人々によって、新たな土器の製作技術が伝えられました。専用の窯（かま）を用いて高温で焼成されることで、それまでの土器に比べて非常に硬く、色が灰色をしていることが特徴の土器を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 土師器 | 2. 縄文土器 | 3. 弥生土器 | 4. 須恵器 |
|--------|---------|---------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。	特定の形状（前方後円墳）が広まったことは、地方の豪族がヤマト政権の支配体制や同盟関係に組み込まれたことを示しています。古墳の形や規模を共有することで、政権内での身分や序列を明確にする役割もありました。
問2	答え 3 漢字	古墳時代に大陸の進んだ技術や文化を持った人々（渡来人）が日本列島へ移住した際、儒教や仏教とともに伝えられたのが漢字です。これにより、それまで文字を持たなかった日本において、出来事の記録や政治的な文書の作成が可能となりました。ひらがなやカタカナは、後にこの漢字を崩したり、一部を取ったりすることで日本独自の文字として発展したものです。
問3	答え 1 倭の五王	5世紀に中国へ使者を送った5人の王は「倭の五王」と呼ばれます。当時の日本（倭国）は、東アジアの国際情勢の中で有利な立場を得るため、中国皇帝を中心とした冊封体制（朝貢外交）に加わり、自らの権威や軍事的な指揮権を証明する称号（官職）を求めて外交を展開しました。
問4	答え 2 須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。	古墳時代に朝鮮半島から渡来人が移住したことで、須恵器の製造技術に加えて漢字、儒教、仏教、機織などの高度な文化や技術が伝わり、日本の技術や生活文化が飛躍的に発展しました。
問5	答え 3 古墳の頂上や周囲に埴輪が並べられ、王の権威の高さや葬儀の様子を表現した。	5世紀は「倭の五王」が中国の南朝へ使いを送り、政治的な地位を確立しようとした時代です。この時期の古墳には、円筒埴輪だけでなく、家、武器、人物などをかたどった形象埴輪が並べられ、葬られた者の権威や儀式の様子を示す役割を果たしていました。土偶は縄文時代、銅鐸は弥生時代、寺院建立は飛鳥時代以降の特徴であるため、混同に注意が必要です。
問6	答え 3 ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。	大仙古墳のような巨大な前方後円墳の建設には、延べ数百万人とも言われる膨大な労働力と長い年月が必要でした。これほど大規模な墓を築くことができた事実は、被葬者である大王が近畿地方を中心として、広範囲にわたる民衆や地方の豪族を統制し、支配下に置いていたことを証明しています。
問7	答え 4 古墳	古墳時代、各地の有力者（豪族）は土を高く盛り上げた巨大な「古墳」を築くことで、その勢力を誇示しました。しかし、飛鳥時代に仏教が伝来して寺院が建立されるようになると、有力者の権威を象徴する対象は古墳から寺院へと変化し、巨大な古墳は次第に造られなくなっていました。
問8	答え 1 ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。	古墳の大きさは、そこに葬られた人物の権力や、動員できた労働力の規模を象徴しています。三重の濠を持つほど巨大な大仙古墳のような古墳が造られたことは、ヤマト政権の首長（大王）が近畿地方の有力豪族をまとめ上げ、強力な支配体制を築いていたことを裏付けています。なお、仏教伝来や律令制度の導入は、これよりも後の時代のことです。
問9	答え 2 渡来人が仏教の経典とともに漢字を伝え、日本人が公的な記録や情報の伝達を行う手段として定着した。	朝鮮半島や中国大陸から移住した渡来人によって、漢字は仏教の経典とともに日本に伝えられました。当時、文字を持たなかった日本列島の人々は、これを受け入れることで歴史の記録や公的な文書の作成、そして宗教の理解を深めることが可能になり、日本の文明化に大きな影響を与えました。
問10	答え 2 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため	5世紀の古墳時代、倭の五王は中国の南朝に朝貢しました。当時の倭の王は、大陸の強大な王朝から「倭王」としての称号（冊封）を得ることで、自身の権威を国内外に示すとともに、鉄資源の供給地として重要だった朝鮮半島南部における外交的・軍事的な優位性を確保しようと考えました。
問11	答え 3 高句麗・百済・新羅	朝鮮半島では、北部の高句麗、西部の百済、南東部の新羅の3校が対立し、抗争を繰り返していました。この情勢は当時の日本（倭）の外交や技術導入にも大きな影響を与え、日本は主に百済や加羅（加耶）の地域と結びついて行動していました。
問12	答え 1 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島の高句麗、百済、新羅などが勢力を争っていました。ヤマト王権は、中国の皇帝から「安東大將軍」といった軍事的な指揮権を含む称号を授かることで、朝鮮半島南部における自国の影響力を国際的に正当化しようとした。これは、当時の日本が朝鮮半島の鉄資源や先進技術を確保するために、外交的な優位性を必要としていたという背景に基づいています。
問13	答え 4 須恵器	古墳時代、朝鮮半島から移住した渡来人によって、穴窯（あながま）を用いた最新の作陶技術がもたらされました。従来の土師器（はじき）が野焼きで焼かれる赤褐色の土器であったのに対し、須恵器は1000度以上の高温で焼成されるため、実用性が高い硬質な土器として普及しました。